

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体を実現するための校内研修①

DXについての職員研修

- ①ICTの公務への効果的な活用
- ②AIドリル等を用いた真に指導の個別化が成立する具体的な取組、可視化の手法など効果的な活用方法
- ③「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化に充実させ、主体的対話的で深い学びの実現と評価

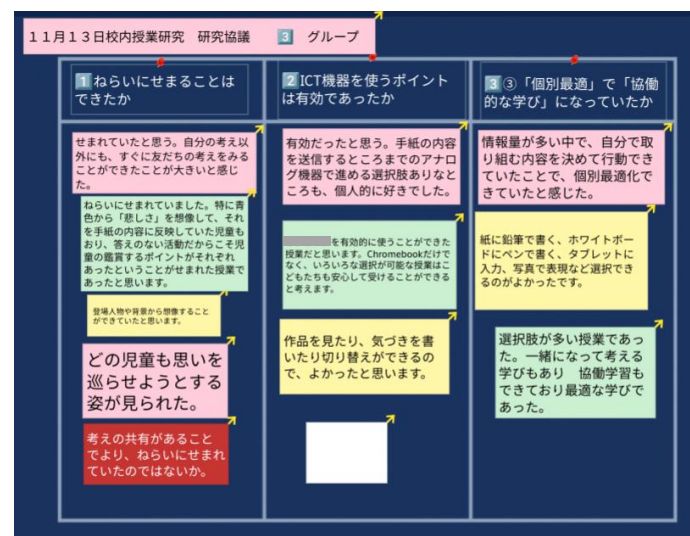
講師を招聘しての校内授業研究・研究協議

校内研修や先進校視察を受けての授業展開。算数では自由進度学習にチャレンジしました。授業の振り返りにはGoogleformを活用。



授業後の研究協議では、学習支援ソフトの共有ノートを活用することで、活発な意見交流ができた

研修内でチャットを初体験。「授業内でも活用できそう」という声があった。



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

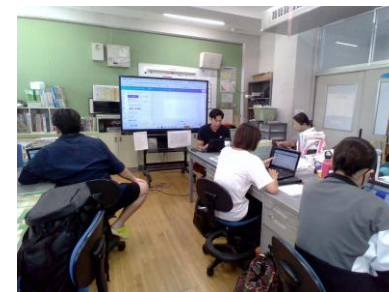
橿原市立 白檀小学校（奈良県）【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体を実現するための校内研修②

低・中・高学年別公開授業

全職員公開授業を実施した。授業略案はスプレッドシートで作成し、授業後はGoogleformで振り返りを行った。授業案が簡単に全職員に共有でき、授業後の振り返りをすぐに授業者に伝えることができる。

研修報告会・PCスキルアップ研修



先進校視察の内容や各クラスでの授業実践、タブレットの効果的な活用法など報告し合う機会を1学期に2回、夏季休業中に2回、2学期に2回実施した。



職員の希望に応じてスキル別PC研修を実施。非常に好評であった。

学年：	4年	教科：	図工
実施日：	2024年7月1日		
単元名：	色合い響き合い		
授業のねらい（つきたい力）			
自分や友達が作った色カードを並べる活動を通して、色や形・それらの組み合わせなどについて見方や感じ方を広げる。			
授業の流れ	①	前時に作った色カードをグループで紹介し合う。	
	②	グループで意見を出し合いながら色カードを並べる	
	③	並べたカードをタブレットで撮影し、感じたことを書き込む	
	④	他のグループの作品を鑑賞し感想を伝え合う	
授業を見る視点			
①この授業で、ねらいにせまることができたか			
②ICT機器を使うポイントは有効であったか			
③グループで意見を出し合いながら作品づくりができたか			

リーディングDXスクール事業【実践事例】

榎原市立 白檀小学校（奈良県）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力の育成（基本的な操作と情報モラル）

★基本的な操作★

各学年これだけは確実に経験させたいもの（キーボード入力やインターネット上の情報の閲覧など、基本的な操作の習得等に関するもの）を「白檀小エッセンシャル」としてまとめている

情報モラル教育推進プラン(これだけは確実に経験させる「白檀エッセンシャル」)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
健康と安全	□使用時間の約束	→	→	□ネット・ゲーム依存	□課金 □自撮り	□SNSを通じた出会いの危険性 □ネット詐欺
コミュニケーション	□言葉の伝え方	□感じ方のちがい	□ネットの特性(伝わりにくさ)	□顔の見えない相手とのやりとり	□SNSに投稿するときの注意	□不適切な投稿への対応 □ネット炎上
情報セキュリティ	□パスワード・端末の取り扱い	□個人情報を伝えない	□機器のアップデート	→	□個人情報の取り扱い	□情報流出とセキュリティ
メディアリテラシー	→	→	→	□情報の収集・選択の仕方 □フェイクニュース	□適切な情報発信・SNS投稿 □メディアの特性	□ネットショッピングの疑似体験
情報の権利	□友達の使用するときの約束	□キャラクターを使用するときの約束	□人物が写った画像を使う時の約束	□Web上の著作物を使用するときの約束	□他者の著作物を使用するときの約束	→

Chromebook推進プラン(これだけは確実に経験させる「白檀エッセンシャル」)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
Chromebook	□ログイン □教員が活用した場面での活用	→	→	→	□委員会活動やクラブ活動での活用	→
カメラ	□写真の撮影 □画像の保存・消去	□音声の記録	→	→	□撮影した映像・画像・音声の加工・編集	→
学習支援ソフト	□カードの操作 移動、書き込み □リンクの参照 提出物の活用	→	□カードを先生や友達に送る □共有ノートを使う	□アンケートをとる □資料箱を使う	□ドキュメントやスプレッドシートなどへ移行していく	→
classroom	□教員の投稿を閲覧 □ミートへの接続	→	→	□教員の投稿に返信 □クラスで共有したい情報を投稿	→	→
ドリルソフト	□学校で教員の指示による取り組み	□家庭で教員の指示による取り組み	□学校で自分に必要なものを選んで取り組み	□家庭で自分に必要なものを選んで取り組み	→	→
ドキュメント	→	→	→	□指定の様式に自分で書き込む	→	→
スプレッドシート	→	→	→	□指定の様式に自分で書き込む	→	→
スライド	→	→	→	□1枚のスライドでポスター形式のまとめ・発表	□複数枚のスライドでポスター形式のまとめ・発表	→
フォーム	□選択式質問に回答	→	→	□記述式質問に回答	□フォームを作成 □リンクでの配信	→
ミート	□教室で参加 □家庭で保護者とともに参加	→	→	□家庭で一人で参加	→	→
ドライブ	→	→	→	→	□教員が指定したファイルのアップロード・ダウンロード	→
ジャムボード	→	→	→	→	□グループでの意見の出し合いや分業	→
文字入力	□タッチペン・音声で入力できる	→	□ローマ字入力体験	□ローマ字入力(1分間に15文字程度) □タッチタイピング練習	□ローマ字入力(1分間に20文字程度) □タッチタイピング練習	→
調べ学習	□教員指定のリンクからページ閲覧	→	□教員が指定したキーワードで検索	□キーワード検索 □ブックマーク活用	□and, or, ~などの検索演算子を使う	→
プログラミング	□Scratchの活用	□Scratchの活用	□Scratchの活用	→	□Scratchの活用	□Scratchの活用
情報モラル	□39ルール配布	情報モラル教育推進プラン参照	情報モラル教育推進プラン参照	情報モラル教育推進プラン参照	情報モラル教育推進プラン参照	情報モラル教育推進プラン参照

★情報モラル★
3・9ルール

SNS、ブログ等、相互通信を伴う情報手段に関する知識及び技能を身に付けるために「情報モラル教育推進プラン」を作成。児童に向けては「3・9ルール」を作成した。また、1年生4年生では授業参観の機会を利用してPCの使い方や情報モラルについて保護者に啓発した。

クロームブック 3・9ルール

3つの約束

- 学習のために使います。
- 健康に気をつけて、時間を守って使います。
- 人を見ずけたり、いやな気持ちにさせたりしないように使います。



9つのきまり

- 決められた時間・場所・目的のみ、クロームブックを使います。
- クロームブックを、ほかの人に貸したりパスワードを教えたりせずに、使います。
- インターネットやアプリに、自分やほかの人の情報をのせないように注意します。
- データを保存するときは学習に関係するものだけにし、先生に許可をもらいます。
- 子ども同士でメールやメッセージを送る時は、先生に許可をもらいます。
- 写真や動画、音をとるときは、必ずその相手に許可をもらいます。
- クロームブックを使わないときは、必ず保管庫に片付けて充電します。
- クロームブックがなくなったり、こわれたり、動きが変になったりしたときは、すぐ先生に知らせます。
- やくそくやルールを守れないときには、クロームブックの使用を中止します。(「だれが/どんなことに/どのくらい/関わったか/すぐ分かるようになります。」)

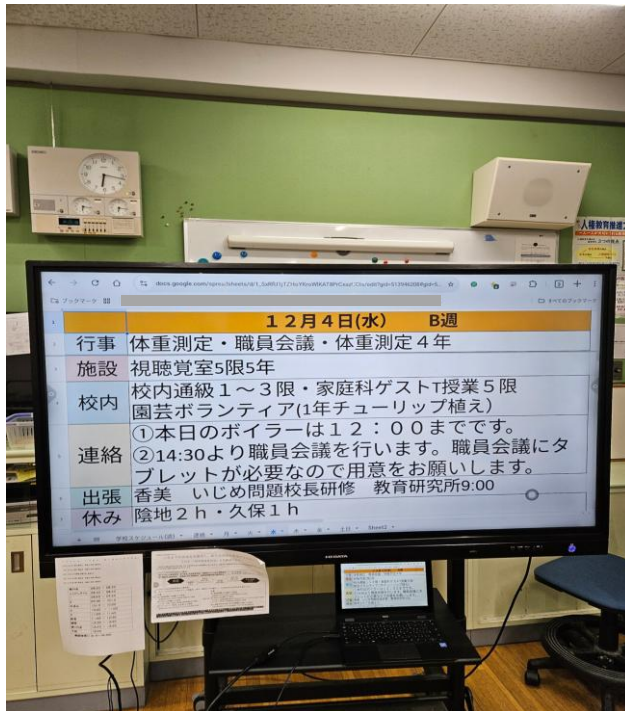
※このルールは必要に応じて、追加・変更することがあります。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

橿原市立 白檀小学校（奈良県）【指定校】

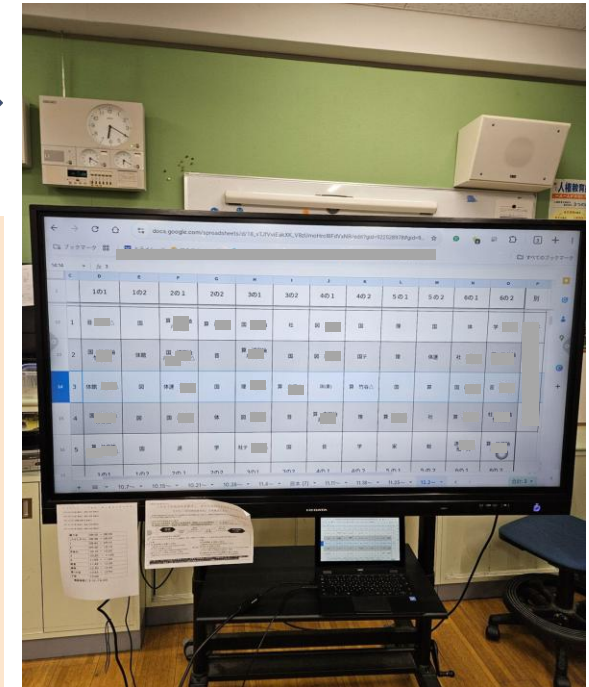
【取組内容】 校務DX（標準仕様とクラウドを活用し教員の働き方改革につなげる取組）

電子黒板を使用した連絡・共有システム



タグの切り替え

1つの画面で色々な情報を見ることができます。またタブレットやスマホでも見ることができ、どこでも確認できるようになっています。



スプレッドシートで作成した、1日の連絡を提示しています。

今日の全クラスの授業と支援体制が確認できます。(スプレッドシート)

職員はそれぞれの連絡を書き込み、いつでも見られるようにしています。